



まごころ便り

平成26年5月22日発行
荒川区立第七中学校
学校だより 第2号
校長 近江 貞之

連携と創造

校長 近江 貞之

4月28日(月)に行われた生徒総会で Let's make it better と「な」「な」「ち」「ゆ」「う」が平成26年度のスローガンとして決定しました。すばらしい「スローガン」ですので、下に紹介します。生徒会のスローガンは、私が学校経営方針で示した「時間・あいさつ・身だしなみ・けじめのある生徒」「あきらめずに努力を惜しまない生徒」「夢や希望をもつ生徒」とも一致しています。生徒会の目指す方向に全員が、一致団結して協力することを期待しています。

経営方針の基本精神として、「連携と創造」を掲げました。

「連携」は、生徒や保護者・地域、教育委員会や近隣小学校等と連携を深めて相互の教育力を活用して、教育活動を進める。

「創造」は、本校が、長年にわたって築きあげてきた伝統を継承しながら、今日的な課題解決のために新しい取組に挑戦して、より良い新しい第七中学校に発展させたい、と考えています。

生徒・教職員とともにより良い学校を創り上げるために日々、努力してまいります。地域や家庭でも、本校の教育活動を支えていただきたいと思います。よろしくご協力のほど、お願いいたします。

平成26年度 生徒会スローガン

Let's make it better

Let's make it better とは「よりよいものを作り上げよう」という意味があります。私たちはこの言葉に、今まで受け継いできた伝統を大切にしながら、新たなことにも積極的に取り組もうという思いを込めました。

「な」納得のいくまで追求

皆さん(生徒)自身がよりよい七中をつくるために何をしたらよいか行動や考えなどを納得するまで深く考えて、行動してほしいという思いを込めました。

「な」中身のある生徒

本心から動いている生徒のことです。また、まごころをもっている生徒のことで、そのためには、自分自身を見つめ直す、自分の行動に責任をもつことが必要です。

「ち」チャレンジ精神

行事や日常生活において皆で協力し、チャレンジすることで、学級や学年、そして学校として団結力を深めたいという思いを込めています。

「ゆ」有言実行

発言したことは責任をもって実行するという意味です。また、「本当に実行してほしい」という思いも込めました。そのためには「言葉にしたことを実行できる雰囲気をつくる」「一つ一つを積み重ねる」が必要です。

「う」敬う精神

お世話になった方に感謝し、学校生活を送ろうという意味が込められています。「敬う精神」の達成のためには、「言葉遣いに気をつける」「あいさつをしっかりとする」「礼儀を尽くす」です。

◇◇5月行事予定表◇◇

日	曜	学校行事・学年行事
1	木	身体計測 スポーツテスト 職員会議
2	金	教職員検診
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	休日
7	水	区オーケストラ鑑賞教室(2) 避難訓練
8	木	
9	金	専門委員会・係会 心臓検診(1他)
10	土	授業公開日 部活動保護者会
11	日	
12	月	全校朝礼 安全指導
13	火	
14	水	荒教研(総・講)
15	木	運動会予行
16	金	全体練習 学年練習
17	土	運動会
18	日	
19	月	振替休業日
20	火	運動会予備日
21	水	校内研修会
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	生徒朝礼 キャリア教育講話授業(2.3)
27	火	
28	水	修学旅行始(3)
29	木	
30	金	修学旅行終(3)
31	土	

◇◇第68回運動会◇◇

これ以上ない快晴のなか、第68回運動会が行われました。

駆け抜けた徒競走、黙々と走り切った長距離走、全力で引いた綱引き、力を合わせた学年団体種目、どれもすばらしいものでした。

七中の運動会の特徴は、生徒が自分たちの力で作り上げるところです。練習は、実行委員が中心に進めます。「大縄」、「クラス旗コンテスト」は、生徒会が主催します。組体操、ソーラン節は、リーダーが全体をまとめます。

およそ600人の方が参観してくださいました。大きな成果を残し、無事に終了できたことを感謝いたします。ありがとうございました。



<全男子 組体操>

<全女子 ソーラン節>

☆☆表彰☆☆

△3年 湯田凱斗

トップアスリート発掘・育成事業第5期生に選ばれました。東京都・公益財団法人東京都体育協会主催のこの事業は、オリンピック等の国際大会で活躍できる東京育ちのアスリートの育成に向けて、競技団体の取組等では捕捉し切れない才能あるジュニア選手を「見つけ・育て・活かす」ことを目的として実施されています。湯田さんは、育成プログラムに参加し、アスリートを目指します。

◆◆校内研修だより◆◆

【第1回校内研修会】4月22日(火)

平成26年度研修テーマ「授業力向上を目指して ～効果的なOJTと言語活動の充実～」

今年度の研修テーマと年間計画を協議しました。また、食物アレルギー対応の研修も併せて実施しました。

また、年3回の「全体研究授業」、各教科年1回以上の「教科別授業力向上研修」の計画を立てました。全体研究授業では、東京女子体育大学教授 小林 福太郎 様にご指導いただきます。教科別授業力向上研修では、大学教授クラスの講師をお招きしてご指導いただく予定です。

【第2回校内研修会】5月21日(水)

テーマ 「特別支援教育 ～軽度発達障害及び、その周辺の子どもたちの理解と対応～」

講師 一般社団法人家族支援メンタルサポート協会 理事長 森 薫 様

ST(スペシャルタレント) 気質についてご講義いただきました。たくさん事例と対応を紹介いただき、有意義な研修となりました。

【第3回校内研修会】6月25日(水)

テーマ 「Hyper Q-U 読み取り(分析・解説) ～生徒理解、学級指導への活かし方～」

講師 日本教育カウンセラー協会 北條 博幸 様